

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公表番号】特表 2000-513667(P2000-513667A)

【公表日】平成 12 年 10 月 17 日 (2000.10.17)

【出願番号】特願平 10-546678

【国際特許分類第 7 版】

B 4 4 C 1/02

B 4 1 M 1/34

【F I】

B 4 4 C 1/02

B 4 1 M 1/34

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 15 日 (2005.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年4月15日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第546678号

2. 補正をする者

名称 サンーゴバン ビトラージュ

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正により増加する請求項の数 1

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

8. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. 画像を取り込む装置、画像処理ソフトウェア及び印刷手段を含む複製装置によって、任意のタイプのインク又は着色物質からなる任意のタイプの1又はそれ以上の支持体上の所望のデザインのモデルから、少なくとも1つのインク層の形で前記所望のデザインをガラス基材上に複製することを特徴とする、インクに基づくデザインを持つガラス基材を製造する方法。

2. 前記複製装置を使用して前記ガラス基材上に複製する前に、任意のタイプのインク又は着色物質からなる前記所望のデザインのモデルを、該インク又は着色物質にふさわしい支持体上に作ることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

3. 焼成するための少なくとも1つのインクを使用して、前記ガラス基材をコーティングすることを特徴とする、請求項1又は2に記載の方法。

4. 前記少なくとも1つのインクがエナメルであることを特徴とする、請求項3に記載の方法。

5. 粒子の少なくとも90重量%が25 μ m未満の直径を持つ1又はそれ以上のインクを使用することを特徴とする、請求項1～4の1つに記載の方法。

6. 粘度が2～1000 cPの1又はそれ以上のインクを使用することを特徴とする、請求項1～5の1つに記載の方法。

7. 前記デザインを焼成するために、コーティングされた前記基材を450～750℃の温度に加熱することを特徴とする、請求項1～6の1つに記載の方法。

8. 印刷手段として、インクジェットプリンタ又はエアログラフを使用することを特徴とする、請求項1～7の1つに記載の方法。

9. 印刷手段として4色エアログラフを使用することを特徴とする、請求項8に記載の方法。

10. 画像取り込み装置としてカラーキャナを使用することを特徴とする、請求項1～7の1つに記載の方法。

11. 前記デザインをシングルパスで印刷することを特徴とする、請求項1～4の1つに記載の方法。